

( 2 ) 年 教科【 音楽 】

使用教科書	中学生の音楽2・3上 中学生の器楽 (教育芸術社)	
学習の目標 ・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養い、生徒自ら意図や思いを持って表現する力を育成する。</li> </ul>	
年間の 授業内容	前期	4月 音楽を形作っている要素,「夢の世界を」(歌唱) 5月 曲想と曲の構成を感じ取って工夫する「リズムアンサンブル」,創作活動 6月 リズムアンサンブル, 創作活動 音楽の構成の秘密を見つける「交響曲第5番 ハ短調」 7月 曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫する「夏の思い出」 9月 旋律の関わり合いを感じ取って歌う「課題曲・学級自由曲」
	後期	10月 旋律の関わり合いを感じ取って歌う「課題曲・学級自由曲」 11月 曲想と音楽の構造との関わりを理解して、器楽表現を工夫する 「アルトリコーダー」 12月 総合芸術の魅力を味わう「アイーダ」 1月 総合芸術の魅力を味わう「義経千本桜」「勸進帳」 2月 様々な民謡や世界の音楽の魅力を味わう「サンタルチア」「世界の諸民族の音楽」 3月 旋律の関わり合いを味わって鑑賞する「小フーガ ト短調」 先輩に音楽で気持ちを伝える「式歌」
特色ある 学習など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動形態…個人活動, ジグソー法, ペア学習</li> <li>・使用機器…情報機器, 視聴覚機器</li> </ul>	
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に音楽の授業に取り組むことができたか。(主体的に学習に取り組む態度)</li> <li>・音楽的に感じたことや理解したことを表現や鑑賞に生かそうとしたか。(思考力・判断力・表現力)</li> <li>・歌唱及び器楽表現のための基礎的な発声や楽器を扱うことかできるか。(知識・技能)</li> <li>・音楽の持つ良さや美しさを感じ取って鑑賞することができるか。(知識・技能)</li> </ul>	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技テストや定期テスト, ノート, ワークなど提出物の内容, 授業態度, 発表の内容などで総合的に評価する。</li> </ul>	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の改訂に伴い, 評価については, 重みづけはしない。</li> <li>・物の貸し借りは避ける。</li> </ul>	